

News Release

2017年7月25日

東京スター銀行

フィンテックを活用した自動家計簿・資産管理サービス 「マネーフォワード for 東京スター銀行」を提供開始

～ 家計収支・金融資産を自動的に一元管理し「見える化」できます ～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤誠治)は、株式会社マネーフォワード(東京都港区、代表取締役社長 CEO 辻庸介)と提携し、お客さまの家計収支・金融資産管理の利便性を高め、効率化を支援する Fintech(フィンテック)を活用したサービスとして、同社が当行のお客さま向けに開発した「マネーフォワード for 東京スター銀行」のスマートフォンアプリ(iOS版、Android版)および Web 版の提供を2017年8月1日(火)より開始いたします。



当行では、中期経営計画で経営ビジョンとして掲げている「Trusted Advisor～お客さまにとって身近で信頼できる相談相手になる～」実践に向けて、各世代のお客さまがそれぞれに抱えるニーズやお悩みの解決をサポートし、お客さまに「人生の見通し」を持っていただけるよう、「資産形成・資産運用をサポートする銀行」としてお客さま目線の商品・サービスのご提供に力を入れております。

本件もその取り組みの一環で、「マネーフォワード for 東京スター銀行」では、当行の口座の入出金・残高情報の管理はもちろん、2,600以上の銀行、クレジットカード、電子マネー、ポイントなどのさまざまな金融関連サービスとも連携させて一括管理することができます。連携した口座から自動取得したデータは分類され、見やすくわかりやすい「家計簿」や「金融資産の一元管理」ツールとして、便利にご利用いただけます。



ホーム画面では、当行からのお得なお知らせをお受け取りいただけます。

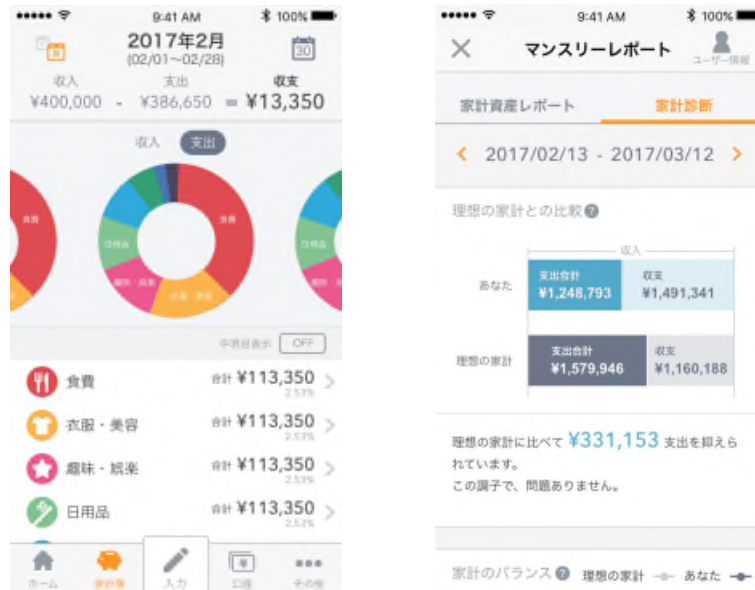
また、店頭においては、資産運用に関するアドバイザーサービスを充実させるため、運用資産を「見える化」できる預かり資産営業支援システム(STAR-ナビ)を今年4月に本格稼働させております。お客さまの預かり資産(円預金、外貨預金、投資信託、保険など)の内容を円グラフやチャートにして包括的に可視化できるだけでなく、他行・他社でお持ちの投資信託や外貨預金をも含めたポートフォリオについて、商品同士の効率的な組み合わせを確認しながら、お客さまの投資意向に合わせた自在なシミュレーションを行うことができます。

今後は、お客さまの保有不動産をポートフォリオに組み込むことも予定しており、金融資産だけでなく、不動産やローンなども含めたすべての資産を対象としたアドバイザーサービスへ発展させ、お客さまが「人生の見通しをつける」ためのサポートを全行員一丸となって取り組んでまいります。

(別紙)【サービス概要】

①家計簿機能

- ・ 銀行の入出金やクレジットカードや電子マネーの利用履歴などをもとに自動的に家計簿が作成されます。取得した情報は食費や光熱費などのカテゴリーに自動的に分類されます。
- ・ 毎月の収入、支出の推移をグラフで表示できるので、変化が一目でわかり、支出管理も簡単にできます。



②資産管理機能

- ・ 銀行、証券、クレジットカード、マイル、ポイント、年金などの情報をすべて連携して自動で一括管理できます。預金、株式など項目ごとにポートフォリオが自動作成されます。
- ・ 預金、株式、投資信託など、資産の種類別に推移を確認でき、資産配分の見直しなどに活用できます。

